

帰国した研修生は、毎月「☆南米からのおたより☆」で現地の様子を紹介しています。ぜひご覧ください！
http://www.city.urasoae.lg.jp/docs/2015013000020/

当銘 フェリッペ ひろゆき

牧港出身 3世(ブラジル)

沖縄に来たとき、私の親戚はこう言いました。「私には、3人の子ともがいます。だから、フェリッペは私の4番目の息子だね」今、それを実感しています。ここで沖縄の家族ができました。ここでの経験は忘れることができません。ブラジルに帰ってからも沖縄の文化を守っていきたいと思います。



山田 ジェシカ 明美

屋富祖出身 3世(ブラジル)

祖父の住んでいた沖縄に来ることができ、親戚と会うことができ、とてもうれしかったです。浦添や沖縄の人たちにブラジルや「移民」について伝えることができたこともうれしかったです。ここでの経験はとても大切なものです。これからも沖縄について学び、またいつか沖縄に戻ってきたいです。



地域との交流

ブラジルにある「ウラソエ」小学校で伝えました

研修生は、仲西小学校、宮城小学校、前田小学校を訪問しました。各小学校では浦添からの移民の歴史を伝えながらクイズゲームを通してブラジルについて紹介しました。子どもたちは、遠く離れたブラジルに浦添出身の人たちがいて、小さな「ウラソエ」があることに驚いた様子でした。



▲仲西小学校での交流

次世代に伝えたい

「名桜大学で移民を紹介」ブラジルでは今でも「浦添・沖縄文化」が受け継がれていることを伝えるため、名桜大学中南米コースの学生に移民やブラジルにある浦添郷友会について紹介しました。ブラジルでは日系人の世代交代が進み、沖縄では移民へのなじみが少なくなってきたいます。そのような中、次世代を

南米研修生受入事業 終了式・送別会

～ 沖縄とブラジルの架け橋に～



問い合わせ
国際交流課 (内線 2611)

南米移住者子弟研修生受入事業とは？

この事業は、南米に移民した浦添市出身者をルーツに持つ子弟を受け入れ、県内日本語や文化研修などを実施し、浦添市と移住先国との架け橋として活躍できる人材を育成しています。沖縄振興特別推進交付金を活用して実施され、午前は日本語、午後は沖縄や日本の文化を学びます。研修期間中は、研修だけでなく、市民との交流を通して移民や外国の文化を伝えることが期待されます。

文化研修

文化研修では、三線、琉球舞踊、書道、生け花を学びました。ほとんどが初めての経験でした。最初はぎこちない動きでしたが、先

今年7月に来沖し研修をスタートさせた山田ジェシカさん(ブラジル)と当銘フェリッペさん(ブラジル)が約5か月間の研修を終了し、12月に帰国しました。沖縄滞在中は、日本語や文化研修に励むだけでなく、積極的に地域と交流し、移民やブラジルについて伝えました。そんな2人の研修や沖縄での様子を紹介します。



▲名桜大学でのプレゼンテーション

イベントへの出展

11月に開催された「おきなわ国際協力・交流フェスティバル」では、おもちゃ作りを通してアマゾン地域の文化を紹介しました。



▲大人気のアマゾン住民セット

研修修了式

12月1日(火)、5か月間の研修の修了式が行われ、修了証書が授与されました。会場には書道や生け花の作品が展示されました。沖縄で初めて学び始めましたが、堂々とした作品からは、2人の成長をうかがうことができました。

また、緊張しながらも琉球舞踊や三線を披露し、親戚や講師の方々、友人たちが見守る中、研修の成果を発表しました。

自身のあいさつでは、上達した日本語でスピーチし、研修を振り返るとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちを伝えました。会場からは、温かい拍手が送られました。

沖縄でできたつながり

沖縄に来る前は、沖縄の親戚と会ったことも話したことなかった2人。しかし、この研修期間で心とともにも近くなり、自身が浦添の出身で沖縄にも家族がいることを実感するようになりました。親戚のほかに、たくさんの方々に出会いました。「ここでできたつながりは、これからも忘れられない大切なもの」と2人は語っています。

生方の熱心な指導のおかげで、5か月間で見違えるほど上達しました。

企業訪問研修

日本の企業や経済への理解を深めてもらうため、研修生の希望する分野で企業訪問を実施しました。大学で経営学を専攻しているフェリッペさんは、「沖縄コカ・コーラボトリング株式会社」と「一般社団法人沖縄・ビジネスインキュベーション・プラザ」に受け入れられていただきました。工場見学では、実際に商品ができる様子を見学し、品質管理の厳しさに驚きました。



▲生け花



▲書道

Coca-Cola 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社



▲工場見学の様子

Okinawa Girls Square 一般社団法人沖縄ビジネス・インキュベーション・プラザ



▲起業に必要なことを学びました。

美術大学に通うジェシカさんは、「琉球びんがた事業協同組合」に受け入れていただきました。実際に紅型の作品を制作し、沖縄の伝統工芸を熱心に学びました。



▲紅型の歴史を学ぶ様子



▲南米研修生終了式・送別会の様子。琉球舞踊や三味線を練習し、その成果を披露しました！

